

# 医療安全研修

## 『SBAR』

### 研修会実施報告

- 日時 : 令和8年6月1日～6月30日
- 対象者 : 全職員
- 目的 : 医療現場で必要となるコミュニケーションを効果的に図ることができるよう、情報伝達ツールである「SBAR」を学び、迅速かつ適切な情報共有ができる能力を身につける。
- 形式 : 動画視聴形式＋内容確認・アンケート調査

医療現場において情報の伝達ミスは患者さんへの不利益や医療事故に直結する可能性があり、迅速かつ正確な情報共有は重要な課題の1つです。効果的でスムーズな連携を図ることができるように、令和8年度第1回の医療安全研修はコミュニケーション手法である『SBAR』をテーマに選び、実施しました。

SBARとは医療安全対策として成果を上げてきた“TeamSTEPPS”のプログラムの1つであり、多忙な中での連絡・相談場面、急変時対応、勤務交替時など、様々な場面で「情報の標準化」を可能にし、判断の遅れや伝達ミスによる不利益を防ぐことが期待されています。TeamSTEPPSの4つの要素（リーダーシップ/状況観察/相互支援/コミュニケーション）の中のコミュニケーションに着目し、研修を行いました。

動画は医療場面だけでなく、事務での応対等の多職種が経験する場面が紹介されており、それぞれの職種の立場で自己の情報伝達スキルについて振り返るきっかけとなりました。アンケート結果では「SBARを活用することで相手にわかりやすく情報伝達ができる。」「情報が整理しやすくなる。」「SBARを実践することで自分の提案能力が向上する。」といった好意的な意見が多数みられました。

安全かつ安心な医療を提供するためには、多職種チームの役割分担と円滑なコミュニケーションが不可欠です。今回の学びを活用しコミュニケーションを高め、よりよいチーム医療を実現できるよう取り組んでいきたいと思っております。

